

ずん Zooっと平川

なんでもランキング **くらべんみやい**

飼育年数ランキング

(平成25年9月30日現在)

イラスト提供：鹿児島井戸のふりてみてるの意匠



No.1

トキイロコンドル (メス 名前:サラ)

わっせか
大変「よかおこじょ(美女)」です。
日本には2羽しかいません。カラフルな顔で他の鳥を
威嚇するといわれています。甘えん坊で掃除中にホ-
スやほうきをかむことも…翼を広げて羽づくろいす
る姿は必見じゃっど!

飼育年数:37年
年齢:37才以上
1976年6月15日来園
コンドルの寿命:約50年

ホオジロテナガザル (メス 名前:モンジロウ)

以前与次郎にあった国際ジャングルパークから来ました。そ
の前はどこから来たのか?メスなのになぜモンジロウ?本
当は何才なのか?ミステリアスなのも魅力です。



No.2

飼育年数:33年
年齢:33才以上
1980年5月7日来園
テナガザルの寿命:約40年



No.3

インドゾウ (オス 名前:ラウナ メス 名前:アンリー)

ラウナはとっても食いしん坊でイタズラ好き!アンリーはとても
おだやかで少しお病な面もあります。いっしょにタイで生まれ、
ずーっとよりそって生活しています。お互い理解し合える熟年夫
婦のようです。

飼育年数:27年
年齢:推定37才
1985年10月31日来園
ゾウの寿命:約60~70年

特集1 ミーアキャット

特集2 ニホンツキノワグマの お引越し

特集3 コアラ飼育員の1日



特集1

ミーアキャット

ミーアキャットってどんな動物？

★分類・特徴

食肉目マングース科

体長 25cm ~ 35cm

尾長 18cm ~ 25cm

体重 600g ~ 1000g(成体)

★生息地

南アフリカ、ボツワナ、アンゴラ、
ナミビアの乾燥した草原

★食べ物

昆虫、サソリ、トカゲなどは虫類やその卵、植物、
果実なども食べる雑食性

★天敵

猛獣類(ジャッカルなど)、大型の鳥、毒ヘビ

★生態

何十頭かの群れで生活します。巣穴を掘り、寝るときは自分たちの掘った穴の中で身を寄せ合います。群れで生活するのは天敵に攻撃されないように見張り役を置いたり、捕まってしまった仲間を助けるためです。昼行性で、周囲を警戒しながら、太陽の方向を向き、日光浴をします。その時、立ち上がって腹部に日光をあて身体を温めます。その姿は「太陽崇拜」をしているようにも見えます。群れには一組の強いオスとメスがおり、繁殖はこのペアが行います。その他のメンバーはヘルパーや子守役となります。エサの取り方はヘルパーが教えますが、短期間で狩りをおぼえられるように、子供の成長に合わせて狩りのむずかしさを変えます。

みんなでひなたぼっこ！



飼育担当者の手作り高台。
周囲への警戒はおこたまりません！

赤ちゃんが生まれました！

平成25年7月26日にマユとピースケの間に3頭のかわいい赤ちゃんが生まれました。

その日、マユの大きかったお腹が急にへこみました。しかし赤ちゃんの姿は確認できなかったため、とても心配しました。

それから2週間を過ぎたころ、3頭の元気な赤ちゃんが巣穴から顔を出してくれて飼育員もほっと胸をなで下ろしました。



初めて巣穴から出てきた子どもたちを見守る両親

すくすく成長中！

生後2か月を過ぎた現在では、何にでも興味を示すようになり、特に両親がとる行動(穴を掘ったり、高いところに登ったり)をいっしょうけんめいまねして遊んでいます。

最初は両親に運んでもらっていた食べ物も自力でエサ場まで行って食べられるようになりました。

オス2頭とメス1頭だったので、オスに「スーリ」「カータ」メスに「リーカ」と名付けました。実はミーアキャットの別名は「スリカータ」というのです。



くんくん、これは何かなー??

動物公園ではどんなものを食べているの？

・馬肉、ミルウォーム(甲虫の幼虫)、リンゴ、煮イモ、バナナ、ミカン、ゆで卵、パン、キャベツの芯
エサは前足でコロコロと転がしたり、押さえながら引きちぎったりして食べます。食べている間もずっとキョロキョロして周囲を警戒しています。やはり動物園の動物とは言え、野生の血が流れているのです！



こきがすごい！鋭く長い爪

前足で地面を掘り巣穴を作るため、爪が非常に発達しています。

また野生下では昆虫やサソリを捕える時、この爪と鋭い歯を使って、相手にダメージを与えます。



担当者：橋口・松元



肉を食べる時は前足で押さえて器用に引きちぎります。

むぜもんじや

むぜもんじや：鹿児島弁でかわいいねの意味



キンカジュー

平成24年12月3日生まれ



生後2日目

こんな動物

食肉目アライグマ科
生息地：南アメリカ大陸の
熱帯雨林
主食：果物・昆虫・花のミツ

お母さんとスヤスヤ

お母さんのおなかの上で寝ています。
まだ目はあいていません。

生後60日目



ワクワク探検

すくすく成長。目がひらいて色々な場所に行く
ようになりお母さんを困らせました。

生後90日目



10月に動物
交換で高知県立
のいち動物公園
へ行きました。
元気でね！

初めての外出

動物慰霊祭いれいさいに動物代表として参加しました。
初めて来た場所なので、色々な物に興味しん
しん!!あちこち行こうとして大変でした。

担当者：鈴木・七村

ブラッサグエノン 成長の過程

こんな動物

霊長目オナガザル科
生息地：中央・東アフリカ
主食：果物・木の葉・昆虫

現在、10月
13日生まれの
赤ちゃんがい
ます



生後30日目

生まれてすぐ

大人のサルは緑がかった体毛と白いヒゲ
が特徴です。
赤ちゃんは毛が金色で、顔のヒゲもまだ
ありません。

生後1年目



すくすく成長中

体も大きくなり、顔つきも大人っぽくなってき
ました。白いヒゲも生えてきています。元気いっ
ぱい動きまわっています。

大人とまだ若いサル



もうすぐおとな

白いヒゲが目立ってきました。立派なおとな
まであと一歩!
「世界一美しいサルのひとつ」と言われます。

担当者：峯下・堤

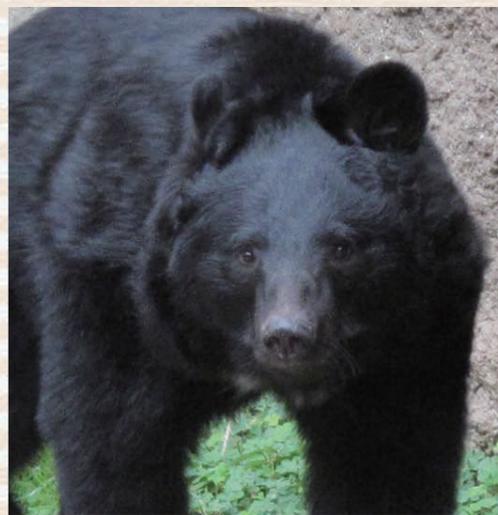
特集2 お引越し

ニホンツキノワグマがやってきた!



イツキ(オス・3才) 山形県川西町出身

性格：少し用心深いですが、人なつこい面もあり、遊んで欲しそうに近寄ってきます。



アイ(メス・2才) 山形県尾花沢市出身

性格：あわてん坊で食いしん坊で、エサを目にするといてもたってもいられなくなります。

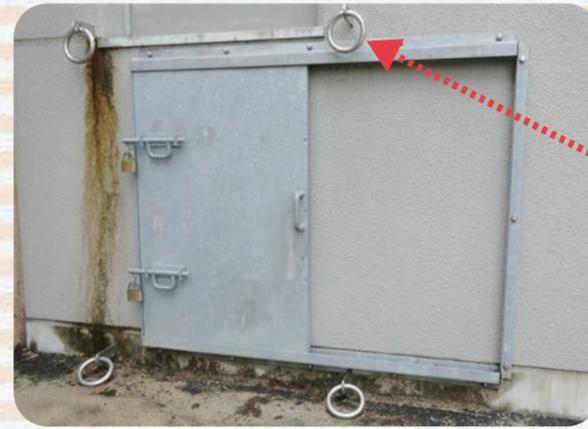
平成25年5月22日、山形県で保護されたニホンツキノワグマ2頭がやって来ました。今回は、その引越しの様子を紹介します。



はるばる山形県からトラックに乗って到着。クレーンを使って、そっとオリを降ろします。



オリをクマ舎の出入口にしっかりと固定してから出入口を開けます。すきまが開いたら大変!



クマ舎の動物用出入口

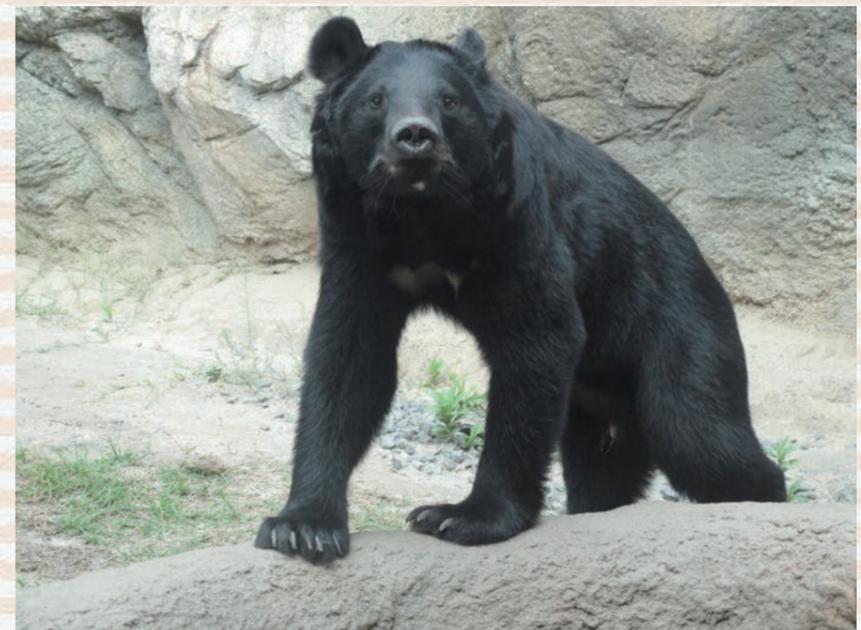
クマ舎の動物用出入口には金属の輪っかが取り付けられており、ここにチェーンをかけることで、輸送用のオリをしっかりと固定できます。この扉の中は動物用の通路で、寝室に通じています。



最初は、オリの出入口を開けても、なかなかクマ舎に入ってくれません。「だいじょうぶだよ」と話しかけたりします



けいはい警戒していましたが、なんとかが寝室の中に入ってくれました。



「ようこそ平川動物公園へ! 元気に育って、たくさんの人に愛されてね。」
今では、南国鹿児島島の暑さに負けることなく、外で走り回ったり、池に入って水あびをしたりして元気いっぱい遊んでいます。

担当者: 秋元・知屋城

飼育員の一日



コアラ飼育員の巻

動物園の動物たちが元気に過ごせるようにお世話をしている飼育員さんは、どんなお仕事をしているのかな？
今回は、「コアラ」の飼育員さんに1日密着取材してみました！

スケジュール

- 8:15 朝の様子観察、打ち合わせ
- 8:30 採食量チェック、獣舎の清掃
- 9:00 エサやり・観察、夕方と翌日のエサの準備
- 10:00 事務所の清掃・消毒
- 11:00 ユーカリの下ごしらえ(長さ調節)・
せんじょう
洗浄
- 12:00 昼休み(昼食)
- 13:00 全体ミーティング(約15分間)
- 14:00
- 15:00 ユーカリ採取
- 16:00
- 17:00 夕方のエサやり・観察
日誌記入
- 18:00 帰宅

元気かー？



8:15 朝の様子観察

いつもと変わりがないか声をかけながら観察します。



8:20 打ち合わせ

飼育の方針やユーカリの採取計画などを話し合います。



8:30 獣舎の清掃

足跡やウンチの量や形も動物の健康状態を知る大切な情報です。もちろんニオイもチェックします。

食べてねー



8:50 ユーカリのエサやり

冷蔵庫から取り出したエサ筒を止まり木に設置します。



10:00 翌日のエサの準備

主食・副食おみぜて、1回に5〜6種類のユーカリを与えます。バランスが大事です。



9:30 事務所の清掃・消毒

外部から病原菌を持ち込まないように事務所もきれいに掃除して消毒液をまきます。



9:15 コアラミルクの給与

栄養補給や投薬などのため、オーストラリアから輸入したコアラ用のミルクを与えています。



9:00 採食観察

エサへの反応や食べるペースなど、食べ方もじっくり観察します。



11:00 ユーカリ洗浄

桜島の灰などをきれいに洗い流し、冷蔵庫で保管します。



12:00 昼休み(昼食)

しっかり食べて午後からもがんばろー！！園内の食堂もGood♪



13:00 全体ミーティング

各担当者が今後の予定や近況について報告します。情報の共有が大切です。



13:30 ~ ユーカリ採取

山や畑から新鮮なユーカリを採取します。スズメバチやマムシにも要注意！！



18:00 帰宅

1日の仕事が終わって帰路へ。でも、どんな時もコアラのことは頭から離れません。



17:00 日誌記入

その日の出来事を日誌に記入します。後々の貴重な資料です。



16:00 夕方のエサやり・観察

たくさんのユーカリを採ってきました。休む間もなくエサやり・観察。



13:30 ~ ユーカリ採取

新芽のついた枝をバケツの乗った軽トラックまで運びます。山道を登ったり下りたり、毎日汗だくです。



飼育員の仕事には、他にもいろいろなものがあります。



体重測定(2週間に1回)

外見では健康そうでも、体重の変化で体調不良を発見することもあります。



爪切り(2ヶ月に1回程度)

運動量が不足しがちな個体は、爪が伸びてしまいます。伸びた爪は、飼育員が切ります。



血液検査(3ヶ月に1回)

血液中の赤血球や白血球などの数を調べたり、内臓の機能が正常かどうかを調べたりします。



止まり木洗浄(2週間に1回)

飼育環境が清潔でなければコアラの健康にも影響します。「ちょっと失礼しますよ～」



イベント・解説(随時)

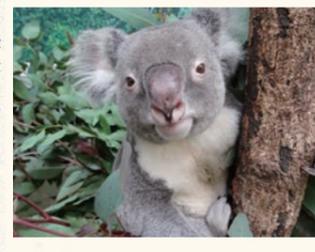
動物や生息環境について知っていただくことも飼育員の大切な仕事です。



台風対策(随時)

ユーカリの被害は、コアラにとって命に係わる問題です。事前に多めに採取したり、被害状況を調査したり、対策に大忙しです。

平川動物公園のコアラファミリー



ウルル オス(♂)

2007年5月26日生
ユーカリをモリモリ食べる力持ち!ユウキ、ルリア、ココロのお父さんです。

現在神戸へ短期△コ入り中



ユウキ オス(♂)

2010年9月7日生
よく地面を歩き回っているやんちゃなコアラ。おヨメさんを募集中です。



ココ メス(♀)

1999年7月25日生
木の上の方で寝ていることが多い、おとなしい性格のおばあちゃんコアラ。



ジュリア メス(♀)

2002年12月20日生
とても上品なべっぴんさんコアラ。ユーカリもコアラミルクも上手に口にします。



アン メス(♀)

2004年6月15日生
子育て上手なお母さんコアラ。好奇心旺盛でほうきとちりとりが大好き。



ハツキ メス(♀)

2004年8月2日生
恥ずかしがり屋さん。食事の時間以外は大きな声はご遠慮くださいませ。



ルリア メス(♀)

2011年8月4日生
優しい性格ののんびり屋。飼育員が抱っこしても、大人しいのはこの子だけ。



ココロ メス(♀)

2011年9月26日生
元気いっぱいのおてんば娘。木から木へのジャンプもお手のもです。

コアラ飼育員 愛用の道具紹介



カギ

(獣舎の戸締りは飼育の基本中の基本です)



ほうき・ちりとり

(獣舎の清掃に使います)



金ヘラ

(頑固な汚れはヘラで削っていっちょ上がり)



ホース

(ユーカリやコアラの止まり木を洗います)



チェーンソー

(ユーカリを採る時に使います)



せんてい 剪定ばさみ

(ユーカリの長さをそろえる時に使います)

飼育員からひとこと

コアラを飼育するためには、新鮮なユーカリの確保が何より大切です。夏は、熱中症やスズメバチ、冬は、木枯らしやしもやけと格闘しながら、山の斜面を登ったり下ったり・・・。

でも、苦労して採ってきたユーカリをコアラがおいしそうに食べてくれたとき、疲れなどどこかへ吹き飛んでしまいます。

コアラは、私たち飼育員をいつも笑顔にしてくれる、とても愛おしい存在です。

「コアラちゃんたち!今日も新鮮なユーカリをたっぷり採ってきてあげるからね～」

コアラ飼育担当 永栄・田邊

